

食味、形状に優れるイチゴ新品种「いばらキッス」

[要約]

「いばらキッス」の糖度は、「とちおとめ」よりやや高く、酸度は「とちおとめ」と同等で、「甘さ」と「酸味」のバランスが良く食味に優れる。また乱形果の発生が少なく、形状が良い。収量は「とちおとめ」よりやや多い。

農業総合センター 生物工学研究所・園芸研究所

成果
区分

普及

1. 背景・ねらい

本県のイチゴは、作付面積 283ha、産出額 76 億円（全国 8 位）と冬季の重要な野菜である。本県の栽培品種の大部分を栃木県育成の「とちおとめ」が占めているが、静岡県、群馬県などの他産地では県独自のイチゴ品種を育成し、ブランド化により有利販売につなげている。そこで県内産地の活性化を図るため、品質が優れ、安定生産が可能な本県オリジナルのイチゴ品種を育成する。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 「いばらキッス」(旧系統名：ひたち 4 号) は、「とちおとめ」を種子親、「ひたち 1 号」を花粉親とする交配組合せの中から、品質や食味を重点に選抜を進めた系統である(図 1)。
- 2) 果実は「とちおとめ」より長めの円錐形であり、果皮色は濃赤色で光沢が強い。果肉色は「とちおとめ」と同様の鮮赤であるが、果心の色は「とちおとめ」より淡く、淡赤である(図 2、表 1)。
- 3) 果実硬度は「とちおとめ」よりやや低い。糖度は「とちおとめ」より高く、酸度は「とちおとめ」と同等である(表 1)。
- 4) 収量は「とちおとめ」よりやや多く、中休みが少ないため収穫期間を通して安定している。一果重は「とちおとめ」より大きい。乱形果の発生は「とちおとめ」より少ない(表 2、図 3)。
- 5) 生産者評価は、「とちおとめ」と比べて果実の形状、食味が良い、草勢が強いが、収穫始期がやや遅く、果実の硬さがやや軟らかいという評価であった(表 3)。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 「いばらキッス」は平成 24 年 12 月 28 日に品種登録された。
- 2) 県内の促成栽培向きの品種である。
- 3) 「とちおとめ」より炭そ病の発生がやや多い傾向が見られるので、育苗期の防除を十分に行なう。
- 4) 暖候期には、果実が軟らかいため、収穫適期に注意する。
- 5) 育苗期の肥培管理によっては「とちおとめ」より収穫始期が遅くなることもある。
- 6) 「いばらキッス」普及拡大方針に沿って普及を推進する。

4. 具体的データ

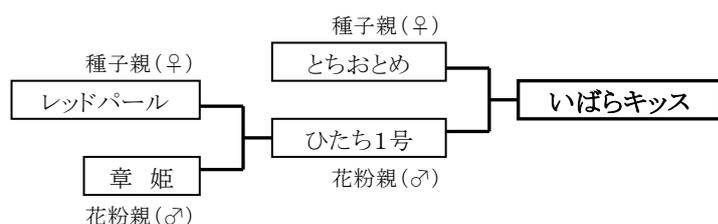


図1 「いばらキッス」の系譜



図2 「いばらキッス」の果実

表1 果実の外観及び果実品質の比較

品種名	果形 ¹⁾	果皮色 ¹⁾	果実の 光沢 ¹⁾	果肉色 ¹⁾	果心の 色 ¹⁾	硬度 ^{2,3)} (kg)	糖度 ²⁾ (Brix%)	酸度 ²⁾ (%)
いばらキッス	長めの円錐	濃赤	強	鮮赤	淡赤	0.49	10.3	0.75
とちおとめ	円錐	鮮赤	強	鮮赤	赤	0.51	9.9	0.74

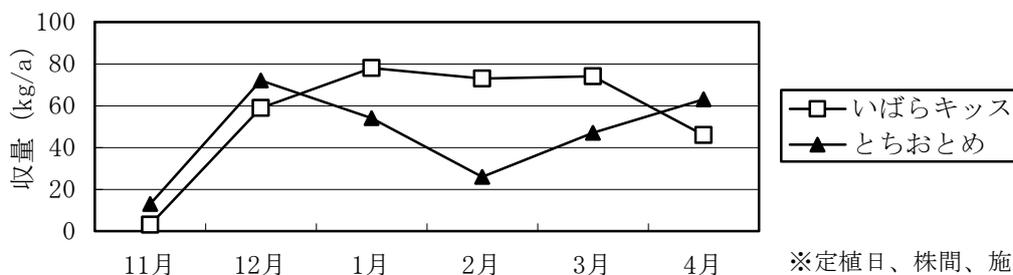
¹⁾平成20年度調査、²⁾18年度～平成21年度の11月から4月までの平均値、³⁾果実硬度計・円柱形Φ5mmプランジャーの貫入抵抗値

表2 開花・収穫開始日、収量および変形果発生率の比較(平成18年度～平成21年度平均)

品種名	開花 始期 ¹⁾ (月/日)	収穫 始期 ¹⁾ (月/日)	収穫 果数 ²⁾ (個/株)	収量 ²⁾ (kg/a)	1果重 ³⁾ (g)	大果率 ⁴⁾ (%)	乱形果 発生率 (%)	奇形果 発生率 (%)
いばらキッス	11/6	12/14	30.1	331	13.7	36.1	4.7	5.5
とちおとめ	10/30	12/5	27.4	281	12.0	28.0	6.7	4.1

定植日；平成18年度：9月13日、平成19、20年度：9月14日、平成21年度：9月17日 株間23cm
元肥N；平成18、19年度：16kg/10a、平成20、21年度：15kg/10a

¹⁾株毎の開花・収穫開始日の平均、²⁾7g以上の果実、³⁾収穫全果実平均、⁴⁾15g以上の果実割合



※定植日、株間、施肥量は表2と同
¹⁾7g以上の果実

図3 月別収量¹⁾の推移(平成18年度～平成21年度平均)

表3 「いばらキッス」を試作した生産者の評価(平成20年度)(園芸研究所)

収穫 始期	第二果房 の発生	着果数	果実の 大きさ	果実の 形状	果実 の色	果実の 硬さ	食味	草勢	病気の 発生	収量
2.3	3.3	3.8	2.8	4.5	4.0	2.3	3.8	4.0	3.8	3.0

生産者4名による「とちおとめ」を3とした場合の相対評価

収穫始期；1:遅い～5:早い、第二果房の発生・果実の形状・食味；1:悪い～5:良い、着果数・収量；1:少ない～5:多い、果実の大きさ；1:小さい～5:大きい、果実の色；1:薄い～5:濃い、果実の硬さ；1:軟らかい～5:硬い、草勢；1:弱い～5:強い、病気の発生；1:多い～5:少ない

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

野菜新品種育成および地域適応性検定試験・平成6年～・野菜育種研究室、園研・野菜研究室